



千葉労働新聞

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.10.31 No. 3301

極限的労働強化を強ひ、安全を解体する。

東日本6万人体制「打破」

9.30マイ改合理化阻止・業務移管・組織破壊粉碎！ 十一月総決起をやりぬき！反撃突入

一〇月二二日、JR千葉支社は、「91・3ダイ改」に関する概要を明らかにしてきた。その内容・狙いは、動労千葉がかってから指摘・断罪してきた「JR東日本六万人体制」にむけての具体的開始としてあり、それ

は、現状ですら危機的な安全をさらに破局的なものにし、労働条件をさらに耐え難いまでに悪化させるものである。十一月総決起をやりきる中から合理化、組織破壊粉碎の反撃体制を強固に創りだそう。

営業関係にも大幅削減
当局は、「91・3ダイ改」概要提案にさきがけて十月十八日「営業関係の効率化を促進する。」

として駅、出札業務の全面的な改悪を提案してきた。特徴は、大幅な労働強化と乗客不在一安全を無視したものであり動労千葉は、強く撤回を求めた。

2、各区の乗務員訓練計画の内容を具体的に明らかにすること。
3、乗務員の訓練に伴う労働条件等についてあきらかにし、必要要件については、この間駅に強制配転された者から配転順に戻すこと。
4、予科採用者の運転士登用を早急に実施すること。

提提案の概要

一、成田空港のアクセス輸送として、新宿(一部池袋)横浜、東京から空港に直通運転する。

二、内外房線特急「わかしお」「さざなみ」の全てを京葉線経由とする。

三、京葉線通勤特急と直通快速。

夜間通勤時に京葉線から内外房線への直通快速をふやす。

四、業務執行体制の効率化をはかる。
ダイ改時にあわせて作業体制の効率化を行う。

いよいよ本格的に「六万人体制」にむけた全面的大合理化攻撃に乗り出すとしていいる。それらに加え、東日本

当局は、「電車の検査周期」の改悪を提案してきているのである。(日刊三三〇〇号参照)

本部は直ちに「撤回」を要求

本部は、当局の目茶苦茶な合理化攻撃に対し怒りも新たに、ただちに申し入れを行い反撃の口火を切っている。

申し入れの骨子 (2号)

「91・3ダイ改」について会社側が何ら提案しない段階から「千葉支社の業務を東京へ移管する」などという噂が流され、一部職制が「動労千葉や

国労の組合員のままだと運転士や車掌へ登用できない」などと組織からの脱退を示唆するなどの組織破壊に出てきていることは、明確に不当労働行為であり重大な決意をもって抗議する。このことにより、職場に不安感がまんえんし運転上も極めて問題である。
団体交渉の拒否、形骸化を改め平和的解決の姿勢をとるよう求める。

1、「91・3ダイ改」に関する労働条件等をすみやかに提案し充分に協議した後に訓練等の事前作業を行うこと。

JR東日本、千葉支社当局は、我々労働者を入として扱っていない！肉体的、整理的極限状態にある労働条件をさらにこれ以上改悪するとうのだを

しかも、運転保安を完全に解体し、乗客と国鉄労働者を命の危険にさらし「痛み」せえ感じないのである。
心底怒りを燃やしJR東日本とJR総連結託による合理化、組織破壊攻撃粉碎に総力立ち上がるうではないか。
十一月総決起と結合し職場からの闘いに突入しよう。